

西光寺だより

第五十八号 平成二十七年六月一日発行

六月に入り里山ではホタルが飛び立つ頃となりました。夏の宵、幻想的な光を放ちながらふわりふわりと舞う様は、なんとも美しい日本の原風景のひとつです。

西光寺近くの西河原公園でも毎年、六月になるとホタルの観賞会が行われます。普段は公園灯がつき園内が明るいためホタルの光は見えませんが、観賞会の日には公園灯を消すため水路沿いに生息するゲンジボタルを見ることが出来ます。

この日は大勢の人が訪れ、普段なかなか見ることの出来なくなったホタルの光を楽しみます。里山のように無数のホタルが乱舞する様を見ることはできませんが、たとえひとつでもその光はやはり美しく、ちかちかと放つ光に人々は喜びの声をあげています。

もちろん、このホタルも観賞会だけのために現れたわけではありません。西河原公園のホタルは卵から幼虫までを公園内の屋内施設で飼育し、公園内の水路に放流、その後は公園の自然環境の中で成長し毎年六月ごろに羽化するそうです。一年間、人の手と自然環境に守られてようやくあの美しい光を放つことが出来ているのですね。

私たちは、目に見える美しいものにだけ捉われがちですが、それまでには多くの営みが行われているのですね。

幼い頃、包んだ両手の中で光る様があまりにも綺麗で虫かごに持ち帰り、翌朝見るとすでに死んでしまったその姿に命の儚さを感じたことを思い出します。つい昨夜まであんなにも綺麗な光を放っていたのに、今はもう動くことさえしなくなってしまった侘しさも。

しかし、生と死は常に共にあるものです。だからこそ生き物たちは自分の種を絶やさぬよう、新たな命を繋げるための様々な工夫をしているのでしよう。ホタルの住む場所が随分と少なくなった昨今、環境を考えるよりも前に私たちがすべきことは、その美しい光を放ってくれる命の尊さを感じることでないでしょうか。



◆先月の報告◆

五月十六日(土)午後七時より西光寺本堂にて平成二十七年度西光寺講総会を行いました。皆さんで讃仏偈のお勤めをさせていただき、平成二十六年会計報告ならびに平成二十七年西光寺行事報告をさせていただきます。

そして今年度は西光寺境内にある外便所の改修工事をさせていただくことになり、皆さんの賛同をいただき、貴重な講金を使わせていただく運びとなりました。これからの時代に向けて和式トイレから洋式トイレへ、そして出来るだけバリアフリーにさせていただき、法要やお墓参りの方々にも安心して使えるように配慮したいと考えております。設計や費用など、さまざまな問題点はありますが、要所

要所で総代会・役員会を開き、意見を出し合いながら、今年の報恩講までに皆さんにお披露目できたらと考えております。駐車場をきれいにし、駐輪場を造るなどの意見もありましたが、まずは外便所ということで決定致しましたので、ここでご報告させていただきます。よろしくお願い致します。

合掌



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七二二

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>